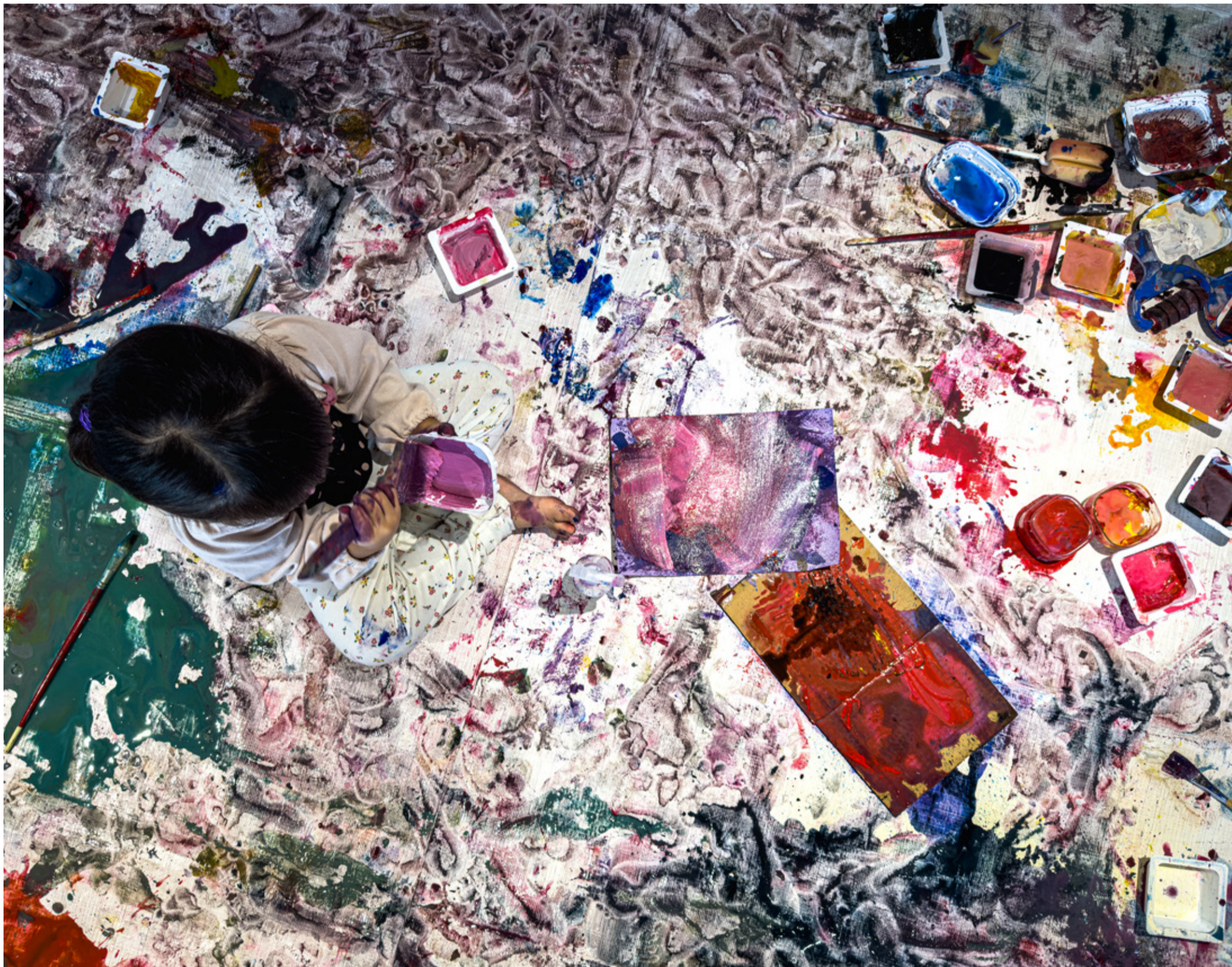


KIDS SMILE LABO JOURNAL

Vol.31
December
2023
TAKE FREE

“キッズ スマイル ラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。



KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森誉さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

“子どもの手が紡ぐ色とりどりの世界”

子どもの心が自由に表現される場
そこには、上手いとか下手という誰かの評価は不要で
ただ、目の前に広がる色とりどりの世界を味わう
自分の描きたいように
自分の心が気持ちのいいように
白かったキャンバスに幾重にも色を重ねていく
自分だけの世界だった紙の上から
描いていくうちに白い床へと表現の場を広げ
誰かの心が描いた色と自分の心の色が重なる
子どもたちの姿を映し出すように
いくつもの色が混ざり合って
深く美しくその世界を紡いでいく

photo & text by morimori

JOURNAL TOPIC

- 01 KIDS SMILE LABO CLASS NEWS
写真に写る装いもすっかり冬の姿に変わりました。今月のクラスの様子です。
- 02 KIDS SMILE LABO KITCHEN 『おせちの由来』
お正月にお子さまと一緒に由来のお話をしてみたいかをご紹介します。
- 03 お散歩 MAP
KIDS SMILE LABO のお散歩一覧表です！お子さまとの会話にお役立て下さい！

kidssmilelabo.com

@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

@kidssmilelabo

@KIDS_SMILE_LABO



KIDS SMILE LABO CLASS NEWS

0 year
こもれび



立ち乗りバギーデビュー！

日々、様々な成長を見せてくれるこもれびクラスの子も達。1歩、2歩と歩き始めた子が翌日には5歩6歩と歩けるようになったり、ハイハイがメインだった子が掴まり立ちやつたい歩きをするようになったり、子ども達の成長していくスピードにこちらも驚かされることばかりです。

そんな成長著しいこもれびクラスですが、散歩の時に使っているバギーをベビーカーから立ち乗りバギーへステップアップしました！

初めて立ち乗りバギーに乗った子ども達は、いつもより高い目線、360度見渡せる視界が新鮮で、通っている道はいつもと同じなのに、座って乗るベビーカーから見るのとはまるで違う景色に見えているかのようで、目をキラキラと輝かせていました。

大好きな働く車を探したり、道端に咲いている草花を観察したり、いつも通るお店の店員さんに手を振って挨拶をしたりと、みんなそれぞれの過ごし方で目的地までの道中を楽しんでいます。

時折、立つ場所や掴まる場所を巡って気持ちがぶつかる時もありますが、立ち乗りバギーに変わったことで友達との距離も近づき、関わりやすくなったことで散歩中の子ども達の笑顔がより増えたように感じます。

こもれびクラスは今日も楽しく賑やかに、散歩に出発です！！

文 あやや

1 year
そよかせ



イヤってしても大切な仲間

バギーを使わず歩いてお散歩へ出かけられるようになったそよかせさん。あれからひと月経ち、1階のロビーで黄色いバギーを見つけても「バギーがいい」と言う子もいなく、みんな元気で本当によく歩いています。

とても嬉しい成長の反面、私達には新たな悩みも…。今までスムーズであった、友達と手を繋ぐということに「イヤ！つながない！」や「〇〇ちゃんとなつなごたかった」など、自己主張が多く見られるようになりました。

そうになってしまうとなかなか出発できず、みんなで「どうしようか？」と話し合う事も。1人1人の気持ちを聞き、想いを受け止めつつ子ども達が納得をするまで時間をかける事もしばしば。

わがままを言っている様に見えるかもしれませんが、その時に感じた自分の気持ちを素直に伝えられる事、これもまた成長であり大切にしたい姿であると思います。どれだけイヤイヤしていても話をしていくうちに、すー…と手が伸び、繋ごうかな…と気持ちが揺れ、繋げたときの瞬間は、良かった！と嬉しい気持ちになります。

小さな手と手をお互いに離さない様にぎゅっとにぎりあって長い道のりを歩く。2歳になったみんなの力に驚かされています。これからも手繋ぎのリズムや集団遊びなども取り入れて友達と手を繋ぐ楽しさを伝えていけたらと思います。

文 れいちゃん

2 years
のばな

魅せられるアートの時間

12月から、2歳児でもアート講師と行う『アートの日』が始まりました。初回はみんなが大好きな水彩絵具。今回はその活動の中でyちゃんから生まれたアートの世界を、ありのままの情景で紹介いたします。yちゃんはズバリと並んだ画材の中からまず最初に黒色の絵の具と大きい画用紙、ハケを選びました。すぐにハケで塗り始めると、あっという間に画用紙が黒色に染まり、次に黄色のスプレーボトルを手にしました。

スプレーは中身がなくなるまでかけ続けました。画用紙上には幻想的なアートが浮かび上がり、ここで終わりになるのかな…なんて私が考えているのをよそに、今度は青と白の絵の具、スポンジのついた棒を取りに行き、紙の上をぼんぼんと叩き始めました。それは楽しそうにキャッキョと声をあげていました。

満足いくまで叩き終えたその後、ふいに触れた部分の紙が破けてしまいました。

一瞬yちゃんも「あ…」と表情を変え、どうするかと思ったら、そこからローラーを手にし、まるで掃除機をかけるかのようにころころと転がし、紙が粒状になる様子を楽しんでいました。

そして塊になったものをギュッと握りつぶして遊び、ここで、「おしまいにする！」の一言。

ここまで、およそ1時間。

まさに遊びきったといった様子でした。

この過程を見ていて、この子は完成を目指していたのではなく、まさに過程を楽しんでいたんだと気付かされました。

キッズスマイルラボではアートをする際、作る過程を大切にしています。そしてその中で生まれる自由な表現の世界。

今回の水彩絵具の活動はそんな一人ひとりの子どもの心が沢山動いた活動になりました。

さあ、1月には今年度のアート & 写真展が開催されます。

ぜひゆっくり作品をご覧いただき、それぞれの作品の奥に見える世界を楽しんで頂けたら嬉しいです。

文 あづあづ



3 years みなも 4 years おおぞら 5 years だいち

点けられた火、育っていく火



大地さんが0からの火起こしを行ってくれたデイキャンプから早1ヶ月、今度は河原で焚き火をしようと計画しました。

焚き火台を置き、大地さんに道具の紹介と火起こしをお願いしました。デイキャンプでも活躍した火吹き棒、松ぼっくり、小さい木、それとマッチ。初めに小さい木を並べ、マッチをすり、近づけます。何度かチャレンジしたうちに火起こしが成功。

水面大空さんも何人か興味を持ち、火吹き棒に挑戦してみたり、火を絶やさないように松ぼっくりを入れ続けてくれたので、炭にも火が点きました。そして、この日は焚き火で起こした火を使ってソーセージを焼くお楽しみもありました。網の上に掛けて、焼けるまで待ちます。「もういい?」「全然焼けないうー」と焼けるまでの時間が待ち遠しい様子の子もたち。焼き色が付き皮が弾けたら、食べられる合図!

しかし、美味しそうにソーセージを頬張る子どもたちの上空にはトンビの姿が。トンビがソーセージを獲りにくるかもしれないこと、見ていればそれを防げること、そんな話をしながら1人2本半、美味しそうに食べていました。自然の中で食べる美味しさや気持ちの良さだけではなく、自然と共にあるということも感じられた1回目の焚き火となりました。

その日の帰り際には「マシュマロも焼きたい」と、次への楽しみと期待が見られました。お休みしていた子もいたので、後日2回目の焚き火を行いました。2回目は小さい木を持っていかず、1人1人燃えそうなものを探してみよう!と河原を探索。「これを燃やそう!」「これも燃えるかも」と乾いた木、ねこじやし、葉っぱ、石を見つけ13人の「燃えそうなもの」が集まりました。

今回も大地さんに火起こしをお願いしましたが、強風でなかなか火が点きません。それでも大地さんは何度も何度もマッチをすり、火を点けようと頑張りました。マッチをすった瞬間に消えてしまうほどの強風の中、大人も協力しやっと火がつき、火を育てます。火吹き棒には順番を待つ列ができ、松ぼっくりや燃えやすいものを自ら集めて入れたり、積極的に火へ関わりに入る子どもたち。大地さんが見せてくれた火起こしは、しっかりと水面大空さんの火への興味に繋がっていました。

この日は子どもたちからリクエストがあったマシュマロも焼き、「今度は焼きリンゴが食べたい!」と、すっかり焚き火が大好きに。これから来る寒い冬は河原へ焚き火に行くことが増えていきそうです。 文いじくん





LIFE is ART

.....

今年度のこどもの写真とアート展『LIFE is ART』のポスターができあがりました。

お知らせにて配信をしましたが、今年度は本厚木小田急ミロードさんにて1週間の開催になりました。今までは参加人数や時間に限りがありましたが、ご家族みなさまでゆっくりとご参加頂けたらと思います。

また20日と27日の2日間は職員が夕方まで会場におります。クラスごとのお話をしたり、ワークショップの準備しておりますので、ご都合を合わせてご来場頂けると嬉しいです。

今年度も子どもたちの素敵な作品と写真が会場を埋めつくす予定となっております。どうぞお楽しみに!





KIDS SMILE LABO KITCHEN

Vol. 20 おせち料理の由来



KIDS SMILE LABO KITCHEN

保育園KIDS SMILE LABOで毎日子どもたちに提供している給食は厚木で育った旬の野菜、無添加調味料を使用して安心安全に、そして見て美しい食べて美味しい給食を2343FOODLABO監修のもと、調理をしています。



LABOでは毎年、年明けのみんなが揃い出す2週目にお正月会を行なっています。今年は1月10日を予定していますが、LABOがお休みのお正月、お家でもおせちを食べて過ごす子どももいるかなと思います。去年のお正月会ではおせちの由来をお話すると「おかねもちになれる!」「あたまがよくなる!」と言いながらモリモリとLABOのおせちを食べている子どもたちの姿が印象的でした。

おせちを食べる意味や由来などをお話することで子どもたちが自ら進んで食べることに繋がります。ご家庭でおせちの由来をお話するのは是非参考にしてみてください。

文やっちゃん



- | | | | | |
|--|---|---|---|--|
| 
黒豆
マメに働いて元気でいられますように。 | 
なます/かまぼこ
赤色と白色でおめでたい! | 
昆布巻き/結びこんにゃく
かんぴょうで結んで、こんにゃくを結んで良い出会いがありますように。 | 
栗きんとん
黄色い色から、お金持ちになれますように。 | 
だてまき
くるくると巻いた昔の本、巻物から頭がよくなりますように。 |
| 
きりとも
亀の甲羅の形から、長生きできますように。 | 
たけのこ
すくすくと大きくなりますように。 | 
たたきごぼう
しっかりと根を張る。元気で過ごせますように。 | 
ぶり/かわら
出世魚から。りっぱに大きくなれますように。 | |